

学校だより 4月号

平成31年4月8日  
鴻巣市立小谷小学校

# 小谷っ子

TEL 048 (548) 1004  
FAX 048 (547) 1467  
URL  
<http://koya-e.konosu.ed.jp>  
e-mail [koya-e@city.konosu.ed.jp](mailto:koya-e@city.konosu.ed.jp)  
毎月19日は「食育の日」です

【学校教育目標】 夢・希望にあふれる心豊かな児童の育成



## 継続は力なり ～努力の積み重ねができる小谷っ子に～

校長 池澤 道弘

荒川の堤防が菜の花で黄色く染まり、希望に満ちた春が訪れました。

お子様の進級・入学おめでとうございます。新たに23名の新入生を迎え、全校児童123名で平成31年度の新学期をスタートすることができました。

今年度は、新しく3人の先生をお迎えしました。5月からは元号も「令和」に改められます。新たな時代を力強く生きる子どもたちを育てるために、全教職員で「汗きらきら・瞳キラキラ・生き生き小谷っ子」のスローガンのもと、学校教育目標である「夢・希望にあふれる心豊かな児童の育成」を目指し、真摯に教育活動に取り組んでまいります。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、年度当初にあたり江戸時代の儒学者・政治家で、六代将軍家宣・七代将軍家継の幕政を補佐した「新井白石」の話を紹介したいと思います。実は、白石は子どもの頃、勉強が好きではなく、朝から晩まで友だちと遊びまわっていたそうです。そんな白石を憂いたお父さんは白石を呼び、次のような話をします。『米櫃から一粒の米を取っても、米が減ったかどうかは分からない。けれども、1年、2年、そして3年と毎日一粒ずつ取っていくと、減ったことが分かる。反対に米櫃に一粒の米を加えても増えたかどうかは分からない。けれども、1年、2年、3年…と毎日一粒ずつ加えていくと、増えたことが分かる。勉強や習い事も同じだ。1日だけ勉強したり練習したりしても、すぐにかしこくなったり、上手になったりすることはない。反対に1日怠けたからといって、次の日にすぐに分からなくなったり、下手になったりするわけではない。けれども毎日、毎日、ほんの少しずつでも努力を続けると、1年や2年後には勉強が分かるようになっていたり、上手になったりしている。反対に、毎日少しだけでも怠けていると、気が付いたときには勉強が分からなくなったり、下手になっていたりする。どんなことでも続けることが力になるのだ。』その話を聞いた白石は、一粒の米を机の上にお守りとして置いておき、怠けようという心が起きた時にはその一粒の米を見て自分を励まし、努力を続けたのだそうです。

4月は、子どもたちも新たな学年、新たな担任となり、緊張感をもって学校生活を送ります。しかし、だんだんと生活に慣れてくるにしたがって緊張感がなくなり、往々にして怠け心が顔を出してくるものです。大人でも、今日1日ぐらいいいかな…と怠けたくなることはあります。ましてや、人として成熟していない子どもであれば尚更なのかもしれません。でも、そういう弱い心に負けないことが人としての成長を促すのだと思います。

「継続は力なり」小谷っ子が米一粒の努力が続けられるよう、学校でも適時声をかけ、励ましていきたいと思っております。ご家庭でも子どもたちの頑張りを褒めたり、励ましたりしていただければ幸いです。

今年度も引き続き、本校の教育活動にご理解、ご協力をお願いいたします。

